



Kainan East Rotary

DISTRICT 366

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣オ1 例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4 F

会長 吉田隆一 幹事 片山博之 会報委員長 坂上充作

オ88回 例会 昭和52年5月2日(月) 於海南商工会議所

1. 開会 司会 上南雅延

2. 国歌斉唱 「君が代」

3. ロータリーソング 「手に手つないで」

4. 出席率 82.14% 会員総数 28名 出席者数 22名
前回修正出席率 85.71%

5. ビジター 松本庄蔵様(和歌山東R.C.) 広辰夫様(海南R.C.)

6. メイキャップ 西岡豊君(4月27日 於海南R.C.)

7. 会長スピーチ 柳川副会長

○ 5月13日(金) 新宮市民会館で開催されます地区年次大会(新宮R.C.ホスト)に多数御参加の申込みをいただき有難うございます。猶デラックスバスの用意もしていますので、寛ろいだ気持ちで往復出来ることと思います。大層がらずに全員参加下さいませようお願い致します。

○ 4月26日に開られました和歌山R.C.40周年記念式典に、会長代理として参加致しましたが、やはり40年間と云う時間の有効さをひしひしと身に感じました。

8. 幹事報告

○ 例会日休会通知 御坊南R.C.5月3日(火)法定休日

○ 年次大会案内 オ269地区 ホスト倉吉R.C.

時 昭和52年10月21日(金) 22日(土) 場所 鳥取県中央体育館

9. 副幹事報告

○ 先程会長から話のありました地区年次大会に参加の件ですが当日7時30分迄に当商工会議所前に集合していただくことになっています。

10. ニコニコ箱

△ 土岐君、片山君、島村君(御誕生日おめでとうございます)

△ 土岐奥様、宮田奥様、中尾奥様、島村奥様、前窪奥様(御誕生日おめでとうございます)

“SERVICE” I believe in ROTARY 「奉仕」ロータリーを私は信奉する

△ 柳川君（県下選抜硬式庭球大会壮年の部で優勝されました）

△ 田岡君（最近寝台式歯科医療機具を導入しました）

11. 会員卓話 山本有造君

私は数年前に野上電鉄の責任者として労働組合に接した経験がある。労組の実体と最近の傾向について皆様方の参考に供したいと思う。昭和48年頃より共産党和歌山支部では、党勢拡張のため労組作りに熱を入れ和歌山市内の各事業所では、5人以上の従業員を有する所を対照に活潑な指導を行なった。一事業所で複数の従業員があれば、正式な手続きを県庁労政課に届けて労働組合を作ることが出来る。組合費を徴収し、企業主と労働協約を結び経済的・社会的な地位向上を計る。これが組合本来の目的である。然し労組が出来ると団体交渉権を獲得することになり、個人的な不満迄を企業側に持ちこまれてかなわない。たとえ、つまらない話でも申込みに対し拒否することが出来ないのである。労組を作ると必ず上部団体加入となり、賃金や職場環境について色々と指導を受けるようになる。そして法外な要求を申し出て争議を起しストライキ突入迄行くのである。私の体験から労資間の人間関係を大切にすることが大事だと思う。労働組合については世間で見ている目と内幕とは、かなりの差がありストライキ等を想定して毎月ためている組合費は莫大なもので、例を挙げると南海電鉄の労組で昭和47年頃には20億円の金を貯金していた。おそらく現在では50億円にもなっており社会的影響も大きいわけである。若し労資間で対立するような立場の時は御連絡いただければ相談にのりたいと思う。

12. 会員卓話 山野裕正君

家業が漆器問屋のため漆について話をさしていただきたい。ウルシを英語で「JAPAN」と云うように、わが国のウルシは品質の良さで世界に知られている。大体東洋の特産物である。ウルシは落葉高木で木質は美しい黄色で腐りにくく、昔から建築用や山間の丸木橋などに利用されたと云う。此の樹皮に傷をつけてウルシを採取するのだがウルシかぶれをするので良く知られている。ウルシ液をとるのには樹齢6～10年ものが良く時期は6月～12月である。7月下旬の「盛ウルシ」が質が良いといわれている。幹に傷をつけると灰白色の油状液がにじみでるがこれをへらで取るのが下塗り用ウルシで、成分はウルシオール70%水分20%ゴル質8%で、そのままにしておくと酸化して黒色脂状になる。漆のかわく状態として摂氏25度、湿度75～85%が最適で今時分の気候が一番良い。ウルシはかわくとは云わないで干しおちとか干しがおそいと独特の言葉が使われ、かわきを早める作用を利用して蜂蜜・水飴・みりん等を混入して精製することで漆器余談に移るが中国では日用備品として漆器を多用しており日支事変当時日本の兵隊が使器とお櫃を間違えて使用したと云うエピソードもある。亦三国史の中で政略結婚した王妃の余りのつめたさに離婚を考えた王様がウルシの塗りにたての便器を王妃に使用させて、かぶれた状態を性病だからと理由づけ離婚した話が掲げられている。

次回例会案内 4689 昭和52年5月9日（月）於海南商工会議所
会員卓話

4690 昭和52年5月16日（月）
クラブ協議会 地区大会参加報告